

岐阜県立大垣養老高等学校

学校長 高木 徳彦

学校住所 養老郡養老町祖父江向野1418-4 電話 0584-32-3161

- 1 会議の名称 令和元年度 大垣養老高等学校 第1回学校評議員会
- 2 会議の構成
- | | | |
|--------|--------|-----------------|
| 委員 | 大倉 美佐子 | 女性農業経営アドバイザー |
| | 川添 公男 | 特別養護老人ホーム白鶴荘施設長 |
| | 久保寺 美佳 | 本校PTA役員 |
| | 馬淵 康夫 | 日本板硝子(株)垂井事業所長 |
| | 水野 成人 | 保護司、元泉地区長 |
| | | (委員名は五十音順) |
| オブザーバー | 林 新太郎 | 同窓会長 |
| | 大水 和弘 | PTA会長 |
| 学校側 | 高木 徳彦 | 校長 |
| | 宮川 直樹 | 教頭 |
| | 大矢 英樹 | 教頭 |
| | 桐山 泉 | 事務部長 |
| | 土本 繁 | 教諭(教務主任) |
| | 小野 卓也 | 教諭(生徒指導主事) |
| | 田中 賢 | 教諭(進路指導主事) |
| | 高橋 百合 | 教諭(総合学科主任) |
| | 箕浦 誠 | 教諭(農場長) |
| | 桂川 法生 | 教諭(寮務主任) |
- 3 会議の目的 大垣養老高校について地域を代表する方々から学校運営・改善のための意見をいただき、地域からの支援・協力のもと、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 令和元年 6月18日(火) 13:30~15:30
岐阜県立大垣養老高等学校 会議室
委員4名、オブザーバー2名、学校側8名が出席
- 5 会議の概要
- 学校評議員委嘱
 - 岐阜県立学校の学校評議員の運営について
 - 大垣養老高等学校の学校運営について
 - 授業及び学校施設見学
 - 生徒発表 総合学科 弁論大会最優秀者
農業科 意見発表会最優秀者、
プロジェクト発表競技校内代表者
 - 意見交流

(1) 生徒発表の感想等

- 意見1 病棟保育士を目指していると聞き、大変興味を持った。介護福祉士と通じるものがあるようにも感じた。
- 意見2 地元の大きな病院にも病棟介護福祉士がいると聞いている。今後どのような進路を選択されていくのか自分のやりたいことを目指して頑張してほしい。
- 意見3 試食させてもらったこんにやくゼリーの商品開発を進め、大垣の銘菓水まんじゅうに勝るものを作りあげてください。今後も高校生の目線や、授業で学んだ力を活かして商品開発をどんどん進めてほしい。
- 意見4 地元を象徴する瓢箪を利用したグリーンカーテンやイルミネーションの設置に期待している。2020年東京オリンピック・パラリンピックでの瓢箪イルミネーションの採用に向け、今後一層県内の農業校生と一緒に頑張してほしい。
- 意見5 地元地域への貢献は、地元の素材を利用することで地域の活性化につながる。今後も地域に根差した教育活動に取り組んでほしい。

(2) 本校の教育活動への提言等

- 意見1 農業高校の部活動が全国的に注目され、生徒の活躍が大きく取り上げられた。農業科に追い風がふいているといえるのではないかと。これからの農業はAIやICTの活用が欠かせない時代になる。本校での学びを農業に活かし、企業的経営としての知識や付加価値を付けた6次産業にどう取り組むべきかを教育活動を通して身に付けさせてほしい。
- 意見2 昨年度この会議で発表された生徒さんが酪農大学や地元企業に就職されたと聞いた。熱意のある生徒さんが多いとの印象が強い。高校3年間の充実した教育を今後ともよろしく願いしたい。
- 意見3 我が国は高齢化社会を迎え、現場では人材不足などの問題も出ている。外国人労働者との共存や働き方改革の推進、休暇の利用法など社会の変化に対応できる力が求められている。本校でやりたいことを身に付けて、やりたい仕事を見つけてもらいたい。
- 意見4 併置校の特性を生かした学科の枠を超えた交流や工夫はされていますか。
(回答) 学校行事(大養祭)、学習成果発表や地域連携推進事業を通して、それぞれの学科を知る機会を作っている。今後お互いの専門分野を融合させるような機会を増やしたい。
- 意見5 本校の校風を守りながら、真面目で実直な生徒を育ててほしい。進学6割、就職4割の進路状況から、地元の大学等への進学をおおいに勧めてほしい。
- 意見6 本校の瓢箪クラブの活動は見事なものだ。これからの活動を盛り上げるためにも後継者の育成をぜひお願いしたい。

6 会議のまとめ

評議員の皆さまから、本校への応援メッセージをたくさんいただきました。地域に根ざし、地域とともに歩む学校として、どのような教育が必要で、どのような人材を育てるべきか、貴重なご意見をいただくことができました。人間性豊かで自立と共生をもって地域に生きる有為な人材を育成する大切さをあらためて知ることとなりました。今後は、総合学科、農業科の併置校として、メリットが十分に発揮できるよう学科の枠を超えた教育活動をさらに充実させ、学科間や地域との交流を続け、更なる努力をしていきます。